※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	製図(通信)	単位数	3	年次	3
使用教科書	製図　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・製図はものづくりにおいて重要なものである。この授業では、製図の初歩的な知識と技術を身につけて日本産業規格に則り図面を描く力を習得する。
・製図道具を使いこなし、基礎的な技法を使って図面作品を完成することをめざしましょう。
・図面の内容を理解して最後まであきらめず粘り強く課題に向き合うことで達成感を味わいましょう。

2　学習の到達目標

・工業の各分野に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する知識と技術を身につける。
・製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
・工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上をめざして自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業の各分野に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格に関する知識を学習し、製図に関する知識をもとに製図を作成する技術を身に付けることができる。	製作図や設計図に関する課題について思考、判断して図面を作成する。完成図面が他者に正確に伝わるように表現することができる。 工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けることができる。	工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して主体的に学習に取り組む態度を養う。工業の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基本演習	○製図用具の使い方 製図の基本 ○製図規約 製図に用いる線・文字 ○基礎製図	a：製図用具の使い方や製図の基本的な知識を理解できる。 基本的な製図の技術を身につけることができる。 b：各作業に応じて適当な用具を選択し、製図の方法・手順について思考、判断することができる。 課題作品を製図するにあたり自らの考え表現することができる。 c：製図の方法に主体的に興味・関心を持ち，製図に主体的に取り組もうとしている。	作品の完成度 実習態度	作品の完成度 観察	実習態度 振り返り
後期	各種の製図	○図法 ○表示記号 ○工業製図のトレース	a：製図の基本的な知識をみにつけており基本的な技術を身につけている。 工業生産において製図がどのように活用されるか理解できる。 b：製図課題に応じて適切な用具を選択し、製図の方法・手順について思考・判断する力がある。 課題作品を製図するにあたり自らの考え表現することができる。 c：製図に興味・関心を持ち主体的に学習に取り組もうとしている。	作品の完成度 実習態度	作品の完成度 観察	実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度